

KOBE スマートシティ推進コンソーシアム 事業計画・予算（2024年度）

KOBE スマートシティ推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という）は、KOBE スマートシティ推進コンソーシアム会員企業（以下「会員」という）並びに市民・行政・研究機関など様々な方との共創活動により、人口減少や少子高齢化の急速な進展にともなう地域課題、新型コロナウイルス感染症による新しい社会変容に対応するため、デジタル技術やデータの活用を通じて、市民生活の豊かさと利便性の向上、地域課題の解決を目指すスマートシティの取り組みを行ってまいります。

記

1. スマートシティに向けた実証事業及び実装の推進

市民が利便性を実感できる具体的なスマートシティプロジェクトの実装を目指し、進行しているプロジェクトの推進に取り組みます。2024年度は各プロジェクトの実施団体が実証事業に展開できるよう、国事業の申請を見据えた支援を強化します。

様々なサービスが連携されるデータ連携基盤の実現に向けて、データ連携基盤の実証環境を用意し、会員とデータ連携基盤のユースケースをもとに機能要件、運用方法に関する検討・検証を進めます。

2. 会員交流の促進

新たなスマートシティサービスのアイデアの創出、全国で行われているスマートシティサービスの情報共有を進めるため、サービスや技術の勉強会、会員間の交流会等を開催し、共創活動を推進します。さらに、特定テーマのワーキンググループを会員の発案で組成し運営します。

2024年度は、会員企業、学生、行政など多様な人材が参加するデジタル技術を学ぶプログラムを実施するなどスマートシティの取り組みを担う人材育成に取り組みます。

3. 市民参加の推進、市民への普及啓発

スマートシティ社会実装コンソーシアムと連携し、昨年からはじめた地域団体やNPO・市民団体と意見交換しながら地域課題の解決を目指すフィールドリサーチに引き続き取り組みます。また、コンソーシアムの先進的な取り組みをより多くの人に知ってもらうため、イベントへの出展など様々な手段を用いて情報発信を強化します。さらに神戸市と連携したホームページやニュースレター、イベントへの出展など様々な手段を用いて情報発信を強化します。

4. その他前各号に附帯又は関連する事業

コンソーシアム運営規約に基づき、全会員が参加する総会及びコンソーシアムの円滑かつ適切な運営のため運営委員会を開催します。

また、上記1~3の取組みにあたり必要に応じた会議等を開催します。

5. 収支予算

収入の部

項目	詳細	予算案 (単位:円)
会費繰り越し		8,800,000
会費収入	正会員 (10万円) × 60口	6,000,000
神戸市負担金		6,000,000
【合計】		20,800,000

支出の部

項目	実施内容 (取組内容・実施意思決定予定・委託先予定等)	予算案 (単位:円)
コンソーシアム 事業費用	(継続事業) ・ 総会の開催 ・ スマートシティ・MEETUPなどの大型イベントの開催 ・ アドバイザリーチームによる支援 ・ 共創活動の開催 (勉強会、ワーキング、懇親会などの開催等) (新規事業) ・ 国支援施策の情報収集、申請サポート ・ 人材育成プログラムの開催 ・ 会員向け共有フォルダの構築、NewsLetterの発信、イベントへの出展	14,800,000
コンソーシアム 運営費用	・ 事務局業務 (事務局運営、入退会管理、会計等事務処理、及びイベント支援等)	6,000,000
【合計】		20,800,000

・ コンソーシアム運営については2023年度に引き続き、NTT西日本に委託する